

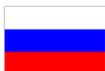
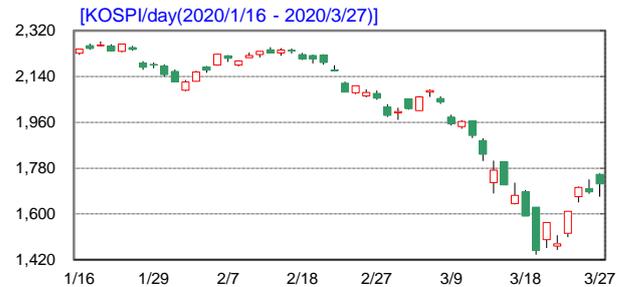


【韓国】 総合指数は週間で9.7%高と3週ぶりに大幅反発、今週も荒い値動きか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で9.7%高と大幅に3週ぶりに反発した。週明け23日は新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気されたほか、景気減速懸念も重なり大幅反落。プログラム売り呼び値の効力を5分間停止する「サイドカー」が再び発動される場面もあった。24-25日は一転して大幅高。米国の景気対策が好感されたほか、韓国政府が50兆ウォン規模の市場安定化策を発表したことで投資家心理が改善した。ただ、指数は2営業日で15%近く上昇していたこともあり、26日は利益確定売りに押されて反落。27日は各国の景気対策への期待感から買いが広がり、反発した。新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見えない中、今週も値動きの荒い展開が続くか。米国や中国の主要経済指標が波乱要因になる可能性もあるとみられる。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は3.4%高と6週ぶり反発 今週は欧米株価をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で3.4%高と大幅に6週ぶり反発。新型コロナウイルスの感染拡大や主要国の株価動向の波及で大きく上下したが、週間ではプラス圏で終了した。週明け23日はブレント原油価格が再び1バレル25ドルを割る中、欧米株安を受けてRTS指数が前営業日比4.4%安と大幅に反落。ただ、24日は米国の巨額の経済対策などを背景に欧米株や原油相場が反発し、RTS指数も9.2%高と急反発。その後も欧米株高を追い風に指数は26日まで3日続伸した。27日は新型コロナウイルスの感染拡大や原油安が意識され、指数は6.1%安と大幅に反落している。個別銘柄ではポリウス・ゴールドやMMCノリスクニッケルといった資源株が大幅高となった。今週は欧米株価や原油相場をにらんだ神経質な展開か。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は1.9%安と3週続落、今週は感染状況次第の神経質な展開

展開

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.9%安と3週続落。新型コロナウイルスの感染拡大を背景とする景気悪化への警戒感で週前半に大きく下落したが、週後半は米国の金融・経済対策が好感され、下げ幅を縮めた。週明け23日は世界的な景気後退への懸念で指数は前週末比6.1%安。24日も売りが続き、指数は一時652.27ポイントと、2016年12月以来の水準に下落した。その後は米国でFRBが無制限の量的緩和に乗り出す中、2兆ドルの巨額経済対策の成立見通しを背景に米国株が大きく上昇したことでセンチメントが改善。指数は25日に4.7%高と5営業日ぶりに大幅反発し、27日まで3日続伸。一時的に700ポイントを回復し、696.06ポイントで週を終えた。今週は新型コロナウイルスの感染状況や米国株をにらんだ神経質な展開か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 8.4%高、30 日から証券取引所の取引時間を短縮

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 8.4%高と 3 週ぶりに反発。週後半の上昇が奏功した。23 日は今月 5 回目のサーキットブレーカーが発動され、指数は終値で前営業日比 4.9%安と 4000 ポイントを割り込んだ。24 日は政府が財政赤字を GDP の 3%以内に抑える政策を見直す可能性を示唆したことが売り材料視されて続落したが、祝日を挟んだ 26 日は前日の NY ダウが続伸した流れで前営業日比 10.2%高と大幅反発。27 日は政府が前日に追加の景気対策を実施する方針を示した効果で続伸した。証券取引所の取引時間は 30 日から現地時間の午前 9 時一同 11 時 30 分と午後 1 時 30 分一同 3 時に短縮される。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 4.9%高、1-3 月期の GDP 速報値は前年同期比 2.2%減

ストレーツタイムズ指数は週間で 4.9%高と 6 週ぶりに反発。荒い値動きが続いた。23 日は 2 月のコアインフレ率が前年同月比で 10 年ぶりにマイナスとなったほか、外国人の入国規制強化に伴うシンガポール航空株の急落で、指数は前営業日比 7.4%安と反落。一方、24 日は世界的な景気刺激策拡充の動きが好感されて 5.8%上昇すると、25 日はさらに 6.1%高と続伸した。26 日は 1-3 月期の GDP 速報値が前年同期比 2.2%減と低迷した影響で売られたが、27 日は政府が追加の景気支援策を実施する可能性を示唆した効果で反発している。今週は 3 日に 2 月の小売売上高と 3 月の製造業 PMI が発表される予定。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.4%安、23 日にサーキットブレーカー発動

SET 指数は週間で 2.4%安と 3 週続落。週初の下落が痛手だった。23 日はサーキットブレーカーの発動で 30 分間の取引停止となり、指数は終値で前営業日比 9.1%安と大幅反落。同日に発表された 2 月の貿易収支（通関ベース）は市場予想から上振れたが、買い材料視されなかった。ただ、24 日に反発すると、25 日は中央銀行が金融機関の流動性が十分に確保されているとの見解を示したことで安心感が広がった上、2 月の鉱工業生産がほぼ市場予想通りだった効果で前日比 4.5%高と続伸。週後半も上値を追う展開で、27 日まで 4 日続伸して取引を終えた。今週は 2 日に 3 月の消費者信頼感指数が発表される予定。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 3.1%高、今週は 3 日に 2 月の貿易統計発表

クアラルンプール総合指数は週間で 3.1%高と 3 週ぶりに反発。週初に反落したが、その後は週末まで 4 日続伸と堅調だった。23 日は政府が 18 日から 2 週間の予定で開始した活動制限について延長する可能性を示唆したことが売り材料となり、指数は前営業日比 3.3%安と反落。一方、24 日は米 FRB が前日に開催した臨時の FOMC で、無制限の量的緩和を決定した効果で前日比 2.5%高と反発した。その後も買い優勢の展開が続き、27 日は終値で 2 週間ぶりの高値を更新している。今週は 3 日に 2 月の貿易統計が発表される予定。外部要因では中国の 3 月の公式製造業 PMI と財新製造業 PMI の内容が注目される。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。